

科目名	病弱者の教育			担当教員	永井 祐也	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SSR309
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	・病弱教育の歴史を踏まえ、病弱教育の制度・教育課程・指導方法を理解することができる。 ・病気のある幼児児童生徒への基本的な配慮事項に関する理解を深めることができる。					
授業の概要	この授業は、特別支援学校教員免許を取得するための必修科目（第2欄：病弱者の教育課程・指導法）である。 病弱教育の対象・歴史・制度・教育課程や、病気のある幼児児童生徒への指導方法を概説する。 【デジタル技術利用：⑧】					

授業計画	
第1回	学校教育における病弱教育の位置づけ
第2回	病気のある子どもの不安と教育的支援
第3回	病弱教育の歴史と制度① 教育対象の変遷
第4回	病弱教育の歴史と制度② 制度の変遷
第5回	病弱教育の教育課程の編成
第6回	病弱教育における各教科等の指導の工夫
第7回	病弱教育における自立活動と個別の指導計画
第8回	病弱教育における自立活動の指導例
第9回	教育課程に関するまとめ
第10回	小児がんと復学支援
第11回	ターミナル期の児童生徒の理解と教育的支援
第12回	自己管理能力の育成と自立活動① 食事制限
第13回	自己管理能力の育成と自立活動② 運動制限
第14回	希少疾患のある児童生徒の理解と教育的支援
第15回	指導法に関するまとめ

事前学修	2時間	・教科書、参考資料を使って事前学習すること。
事後学修	2時間	・授業で学習したことを整理し、復習すること。 ・授業で扱った教科書の該当ページを読んでおくこと。
フィードバックの方法	授業内で課した小レポートを次回の授業で返却する。小レポートに書かれた質問や意見は次回の授業の冒頭で取り上げ、全体に共有する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	30%	期末課題(30%)
上記以外の試験・平常点評価	70%	中間試験(30%)、小レポート（30%）、授業への積極的な参加(10%)
補足事項		

教科書					
書名		著者	出版社	ISBN	備考
標準「病弱児の教育」テキスト改訂版		一般社団法人日本育療学会・山本昌邦他	ジアース教育新社	978-4-86371-618-6	なし
参考資料	特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則等編（幼稚部・小学部・中学部）（文部科学省）				
	特別支援学校教育要領学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（文部科学省）				
参考資料	特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（文部科学省）				
	障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（文部科学省）				